

ふれあい曾山医院

志筑1391-9
Tel:62-5566

2011年5月号
(第72号)

発行人
曾山 信彦



編集委員会



敦子 成氏 陽子 尚子
藤島 近博 松山 尚子
赤松 山 谷岡

在宅酸素療法

慢性呼吸不全や慢性心不全など体の中の酸素濃度がある一定以上に低下している方が自宅など病院の外で酸素を吸入しながら生活する治療法の事を在宅酸素療法と言います。



現在日本全国で13万人以上の患者様がいらっしゃいます。1985年に医療保険が適用され在宅ケアが可能となり職場復帰や旅行に出かけられる様になりました。

▼基礎疾患

①慢性閉塞性肺疾患 (COPD) タバコなどの有害な空気を吸い込む事によって気道の通り道である気道(気管支)や酸素と炭酸ガスの交換を行う肺(肺胞)などに障害が生じる病気。
②肺結核後遺症
若い頃に肺結核にかかり病気が治癒したものの肺が破壊されたり治療のために胸部成形術や人工気胸を行った方

の中で肺機能が徐々に低下して慢性呼吸不全になる病気。
③肺癌
癌細胞の腫瘍が肺に発生する病気。

▼目的

体にとって必要な量の酸素を補充してあげること。

▼効果

息切れなどの自覚症状が改善し日常生活の範囲が拡大し、充実した家庭生活や社会生活に復帰できる。酸素吸入する事で心臓をはじめとする諸臓器の低酸素状態を解消し負担を軽減する。
▼方法
空気中の酸素を取り込み機械的に酸素を濃縮する酸素濃縮装置や、

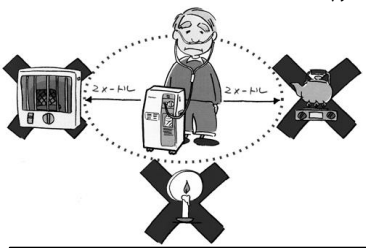
④間質性肺炎
何らかの原因で肺に線維化が起こり肺が固く縮んでゆき呼吸がしにくくなる病気。

▼注意

外出時に使用する携帯用酸素ボンベなどを用いて鼻カニューラなどによって酸素吸入する。その際の酸素吸入量は医師の処方によって決定する。

▼注意点

①吸入時間・吸入流量は必ず守る。
②吸入中は火気のそばに行かない。
タバコは吸わない。
③外出時は火気のそばに行かない。
タバコは吸わない。
④外出時は火気のそばに行かない。
タバコは吸わない。



▼日常生活

①栄養を充分にとり、バランスの良い食事をする。
②十分な睡眠。
③入浴は酸素を吸いながらの半身浴。
④こまめに掃除をし清潔に保つ。
又、マスクと専用の機械を使用し呼吸を補助する在宅人工呼吸療法を併用される患者様もおられます。これは酸素療法とは異なる治療法で寝る時に鼻にマスクを着けて、空気を送り込む事によって気

道がふさがるのを予防します。患者様の呼吸回数が少なくなる夜間において自発呼吸が微弱になるのを補助し低呼吸による低酸素状態を解消します。

当院でも在宅酸素療法や在宅人工呼吸療法をされている患者様がおられますが、皆様自分の体の事をしっかりと理解し家族や周囲の方々をサポートしていただきながら日々の生活を楽しんでおられます。もし呼吸がしにくい、息が苦しい等少しでも気になる事がありましたら当院までお気軽にお声をお掛け下さいませ。
(看護師
西岡 博子)

